

平成26年11月10日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
三井住友ファイナンス&リース株式会社
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行
住 友 商 事 株 式 会 社

SMBC Aviation Capital によるボーイング機購入について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（取締役社長：宮田 孝一、以下「SMFG」）の子会社である株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）および三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：川村 嘉則）ならびに住友商事株式会社（取締役社長：中村 邦晴、以下「住友商事」）（以下、総称して「コンソーシアム」）は、航空機リース業界の世界最大手の一角である傘下のSMBC Aviation Capital Limited（CEO：Peter Barrett、以下「SMBC Aviation Capital」）が、米ボーイング社との間で、ボーイング 737 MAX 8 80機の航空機を購入する契約を締結しましたので、お知らせいたします。これらの機体は、2018年から2022年の間にデリバリーされる予定です。

本購入契約はリース会社によるボーイング 737 MAX 8 の単一購入契約としてはボーイング社史上最大の規模となります。コンソーシアムとしては、今後とも新鋭機種を取扱いを積極的に拡大し、中長期的に成長を維持し、航空機リース業界における地位を確固たるものとするを企図するものです。

コンソーシアムでは、2012年のSMBC Aviation Capitalの運営開始以降、SMFG と住友商事の両グループの夫々が持つ強固な財務基盤やソリューション提供力、グローバルな顧客基盤、高度なリスク管理能力を活用しつつ、アジアを始めとする新興国において増大する航空需要を取り込み、SMBC Aviation Capitalの事業拡大を図ってまいりました。今年度は、本契約及び7月のエアバス社との航空機購入契約と合計で195機を発注しております。引き続き、航空産業の発展とともにコンソーシアムも成長するという上記のビジョンを実現してまいります。

以 上